

フェーン緊急情報

令和2年8月8日
新潟県農林水産部

8月10日から14日頃にかけて、フェーンによる異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

フェーンが発生する前にかん水をはじめてください。

〔気象の見込み〕

- ◎ 新潟地方気象台が8月7日15時に発表した「高温に関する北陸地方気象情報 第1号」によると、北陸地方では8月10日から14日頃に最高気温が35℃以上になるところがある見込みです。
- ◎ また、8月8日11時に発表した「週間天気予報」によると、新潟県では8月10日から11日にかけて最高気温が36℃に達する見込みで、県内の内陸部ではそれ以上になる場合が予想されます。
- ◎ 気象庁の台風情報によると、現在フィリピンの東海上にある熱帯低気圧が発達し、9日には台風になる見込みです。
- ◎ 今後、熱帯低気圧が台風となり北上した場合、フェーンによる異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

〔当面の管理対策〕

- ★ 登熟期間中の高温と乾燥は、乳心白粒等の白未熟粒の発生による品質低下につながるため、田面の状況を確認し、フェーンが発生する前にかん水をはじめると、水管理を徹底してください。
- ① 暗渠栓を閉じる、用水路の点検や水尻をしっかりと止めるなどの事前準備を進めてください。
- ② 最新の気象情報を参考に、地域の用水利用計画を確認して、地域全体に用水が行き渡るよう、フェーンが発生する前から、かん水を始めてください。
- ③ こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めてください。
- ④ フェーンによる高温・乾燥が2日以上続く場合は、地域の用水利用計画を十分確認した上で、可能な限りほ場の水温上昇を抑えるこまめな水管理を行ってください。
- ⑤ フェーン通過後は、ほ場内の水が温まっているので、長期間の湛水は避け、できるだけ水の更新を行い、すみやかに飽水管理へ移行してください。

農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。

